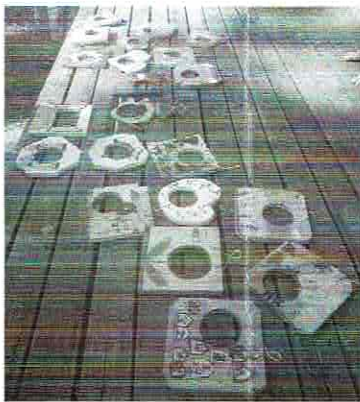


「山と森林の月間」参加行事

夏休み・親子で遊ぶ冒険遊び場「ひーとびーとの森」

2回目 (8月29日)



写真フレーム



型染め



1日に行った1回目では「まき割り」「飯ごう炊き」と、野外料理に取り組んでもらいましたが、2回目の今回は、そろそろ宿題の提出も気になる?! 夏休み終盤ということもあり、工作2種類に、6家族22人に挑戦してもらいました。

まず1種類めは、講師があらかじめ用意した、ど真ん中や、やや端っこ寄りなど1個ずつ違う位置に丸い穴がくりぬかれた真四角の木板の気に入ったものをもらいます。さらにそれを電動ノコ、電動ドリルを使って、四隅を削ったり、ハート型やひし形にしたりと自分好みの形に変え、吊り下げ用のワイヤを通した後、思い思いにペインティング。



丸い穴を潜水艦や家の窓に見立てた絵を描く人、丸い穴はヒマワリの輪郭とする大胆な構図の人、趣味の将棋を並べる人など年齢問わずバラエティ豊かな写真フレームが出来上がりました。ペイントだけでなく、電動具にハマる子も……。

さて、午後からは川での自由遊びを終えていったん終わりの挨拶。その後希望者だけ「型染め」体験のため残ることに。…が、パワフルに写真フレームづくり、川遊びをしてもまだエネルギーが有り余っていたとみえて、ほとんどの家族がが型染めにも挑戦しました。

まず、周辺に落ちている好きな葉っぱを何枚か拾ってきて、その上に布をあててハンマーでたたきつけてというシンプルな作業ですが、葉っぱの形と色がそのまま布にとどまる美しさに感嘆していました。



ソーシャルビジネス・センター奈良 開設記念シンポジウム

8月28日
エルトピア奈良



会場が狭く感じるぐらい、熱気であふれていました。

環境や貧困問題など様々な社会的課題に向き合い、ビジネスを通じて解決していこうという“ソーシャルビジネス”が広まってきています。奈良でもこうした動きを支援していこうと、奈良NPOセンターが4月に「ソーシャルビジネス・センター(SBセンター)奈良」を設立。そして8月28日には、そのお披露目を兼ねた「ソーシャルビジネスシンポジウム」が開催されました。

ほっとねっとの問題意識とも共通するので、興味を持って、このシンポジウムに参加してきました。

基調講演は「ソーシャルビジネスを志すために」、と題して京都産業大学の大室悦賀准教授がお話されました。

大室先生は

- ・「大きな政府」が望めない中で、今後の流れは、「大きな公共」を目指す多様な取り組みになる。
- ・事業型NPOや、社会志向型企业、それに今後は一般企業もどんどんソーシャルビジネスに参入してくる時代になる。

等と、現状や見通しを述べられました。

特に、「サラリーマンの時代は終わった」「いまや、『何とかなる』ことはない。自ら何とかしなければならない。それくらい私たちが置かれている環境は厳しい」「一億総自営業者の時代」等、ユニクロの柳井氏の言葉を引用していたことが強く心に残りました。

そして「時代を作るソーシャルビジネスで奈良を元気に」と題したパネルディスカッションではスタイリッシュで若者が乗ってきそうな事業展開をする県内外のNPOや株式会社の紹介がありました。

具体的には

- ・シードプランニング合同会社(NPO M's ネット)の北島さん
- ・株式会社地域活性局の藤丸さん

・!STYLE(エクスクラメーションスタイル)の吉野さん
それぞれ、あつい思いでソーシャルビジネスに取り組んでおられます。

みんな、若くて、ユニーク。それに「志」があって元気です。こうした活動の輪が、きっと社会を、地域を変えていく原動力になる。そんな気がしました。

レジュメにこんな文章が紹介されていました。
「地域が変われば世界が変わる。世界が変われば、地域が変わる。その根本は、人々が変わることです。人の変革を通して、市場システムを変えることです」
愛媛県の「しまの会社」のHPからの引用です。

奈良県でも、問題がいっぱい出てきています。みんなが不安を抱えているけど、誰も言い出さない、いや言い出せない、というのが実際でしょうか。でも、こんな風に前向きに問題と取り組んでいる会社や地域もある。問題は「何とかしよう」という人がつながって、具体的に「何か」を始めることではないでしょうか。

また、若者に従来型の雇用が保証されなくなっている中、これからは若者自身が起業して社会的課題にチャレンジする、ということも頻繁におこってくる。そんな予感がします。

ほっとねっとがどんな役割を果たせるのか。考え、取り組んでいくべきテーマだと思います。

「SB奈良」では引き続き、連続学習会や研究会も開催するようなので、機会があればまた参加していきたいと思います。(K)

※SBセンター奈良(奈良NPOセンター内)では、この後もソーシャルビジネスの連続講座を開催中。

来場者 24 万人め！

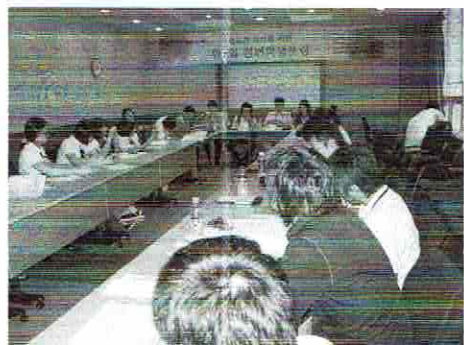
8月6日 水平社博物館



今回は福岡県からのお客様にサプライズ！

8/27-30 韓国滞在メモ

議論白熱・・・「日韓青年学生フォーラム」
 韓国の市民運動の今・・・「参与連帯」訪問など



併合一〇〇年、日韓関係など
 について意見交換が行われた
 「日韓青年学生フォーラム」

ソウル市内で行われた「日韓青年学生フォーラム」に参加する青年たちの引率で8月27～30日韓国に滞在した。刺激的な4日間だった。簡単な韓国語の挨拶やソウル市内の会場周辺の地理など、基本的な予備知識すら準備することができなかった。第1日は夕刻にホテルに着き、フォーラム参加者の交流会へ。2日目は終日「韓日青年学生フォーラム」。僕らのグループは午後、青年の代表が、部落差別と部落解放運動について報告を行った。併合100年、日韓関係、従軍慰安婦問題、在日青年の取り組み、東アジア連帯の問題など内容は盛り沢山で、議論は白熱し、予定時間をオーバーして続けられた。7時からは交流会で、今度は大学の大会場で、韓日それぞれの市民合唱団の交歓となった。終了後の午後10時近くから、大学教授Leeさんが食事に招待してくれた。彼は、最近まで立命館大学の客員教授として来日していたのだが、4月に奈良で行われた集会の際に、僕が焼肉屋に招待したので、今回はそのお返しという訳だ。今回、このフォーラムに招聘してくれたKimさんと懇意で、みんなに豚の腸詰めや春雨や餅米を詰めたものの鍋をご馳走してくれた。更に、2次会でカラオケに行き、3時頃まで飲んだ（というか、カラオケはノンアルコールのみだった）。3日目はフィールドワークで、台風の土砂降りの中、西大門刑務所歴史館の見学をした後、併合100年記念碑の除幕式に参加した。午後からは、併合100年の市民大会が行われ、夕刻まで、各フォーラムの紹介や行動計画の採択などが行われ、最後に市民合唱団とともに参加者全員で合唱して閉会した。で、その後また夕食交流会。青年学生フォーラムの参加者で歌を歌えということになったので、テーブルに歌詞をまわし、密かに練習して、ジョニー宜野湾の「前を向いて歩こう」を合唱した。そして青年学生フォーラムの参加者で2次会。韓国の学生たちとは片言の英語で話をした。彼らも英語は学校で習っただけのようで、語学力はいい勝負だ。東国大学の学生は明日博士論文の予備試験そっちのけで僕らに付き合ってくれた。

さて、4日目。帰国の便は夕方なので、午後からLeeさんが韓国最大の市民運動「参与連帯」の事務所に案内してくれた。お昼にLeeさんがホテルに迎えに来てくれ、Kimさんとともにクルマで「参与連帯」の事務所に。Leeさんは予定ができて同席できなかったが、この中心人物の一人、Lさんと、Kimさんの通訳で3時間近く話をすることができた。「参与連帯」は参加民主主義をめざす市民団体である。設立当初、汚職議員の落選運動がマスコミの脚光を浴び、国内で市民からの支持を大きく増やした。現在会員12000人で、支持してくれている専門家スタッフが500人、事務局50人を擁している。5階建てのビルを事務所としている。司法、立法、行政へのそれぞれの監視センターを設け、様々な国の法案に対して必要であれば政策提案をし、当該の諮問団体と連携しながら運動を展開する。最近では韓国哨戒艦沈没に関して専門家グループで客観的に検証した結果、北朝鮮による攻撃説に異を唱え国連に意見書を提出したと言う。そのせいで右翼団体から攻撃を受けているらしい。財源は会員の会費で、会社等からの寄付は原則として受けないそうだ。そうした運動自体、目を見張るものであったが、その話を通じた韓国社会運動の状況も僕にはとても興味深いものだった。「成熟社会」的閉塞状況については、詳細に聞くことはできなかったが、まだ日本と韓国ではタイムギャップがあるようだ。そんななかでもLさんとはかなり問題意識が共通していると思えた。僕個人に長時間を割いて話をしてくれたことがとても有り難く、丁度9/6締め切りに準備していた日本の風景のスケッチを持っていたので、お礼に渡した。

今回、韓国ではLさん以外にもいろんな人に会った青年学生フォーラムの参加者は勿論、夏休みなら団体に無償の宿を提供できるという韓国の高校教師。風刺漫画を描いている大学教授。大阪や東京で頑張っている在日の青年達。韓国でガイドボランティアをしている若者達。韓国の人たちとダイレクトに繋がることができると言う確信を得た。そしてそのことが、想像以上に大きな力を持つのではないかという感触を覚えた。ユネスコの国際理解教育の重要人物であるLeeさんが僕に、もっとダイレクトに国連やユネスコにアクセスすることを勧めてくれたのだが、そのことを真剣に考えてみようと思う。

(伊藤満)

全員参加で、「前を向いて歩こう」を合唱した夕食交流会



野次馬情報 掲示板

☆「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会

日時:10月3日(日)10:00~上映会

12:40~監督トーク

14:00~上映会

場所:京田辺市商工会館 CIK ビルキララホール(近鉄新田辺駅から徒歩5分、JR学研都市線の京田辺駅から徒歩1分)

参加費:当日券1000円

前売り800円

高校生以下無料

監督トークのみ500円

主催:未来をつむぐ母の会

連絡先:FAX 0774-65-3670

Email:miraiwo2mugu@mail.goo.ne.jp

☆性と生を考える会

ぶらっとサロンがぶか

日時:10月7日(木)18:30-20:45

場所:奈良市生涯学習センター 3F 学習室1

(奈良市杉ヶ町23、市内循環バス「大森町」すぐ/JR奈良駅徒歩10分)

参加費:500円(お茶お菓子資料代) 申込不要

テーマ:「要望書を作ろう」

主催:性と生を考える会

<http://nara.cool.ne.jp/say-to-say/index.html>

問合せ:中田ひとみ

E-mail nakatah@kih.biglobe.ne.jp

携帯 090-9543-4978

☆アフガニスタンの公用語 ダリ語教室

日時:2010年10月9日(土)14:00~15:30(毎月第2・第4土曜日)

場所:奈良市中部公民館

内容:《アフガニスタンの言葉をはじめて学ぶ日本人のための初級クラス》

※2010年10月からスタート! 生徒募集中!! 講師:カリマ・モハビ(奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程 在籍)

月謝:2,000円

問合せ:ラーラダリ語教室事務局 西田(090-5972-

8076、Email:r.nishida@wish.ocn.ne.jp)

☆第16回なら・ヒューマンフェスティバル

日時:10月9日(土)10:00-15:00

場所:天理市文化センター一帯

(天理市守目堂町、近鉄・天理駅下車約1km)

内容:

【文化センター3階 文化ホール】

○午前○・オープニング(和太鼓演奏)・開催式

・アトラクション(保育園児の歌など、エレクトーン演奏等)

○午後○・トーク&コンサート ソウルゴスペル歌手 新井 深絵さん

【市庁舎市民ホール】

・マッサージ体験コーナー

屋外

【市庁舎南側広場 他】

・大道芸、フラダンス、韓国民族芸能

・金魚すくいコーナー

展示等

【文化センター 1階 展示ホール】

・啓発パネル・ポスター展示・啓発ビデオ放映

・啓発グッズの展示・法務局/人権擁護委員連合会コーナー・人権相談コーナー

模擬店/物産展

【市庁舎南側広場 他】

・各市町村、関係団体等からの出展による模擬店/物産展・フリーマーケット 等

★入場無料、託児無料★手話通訳、要約筆記あり

★天候等により中止する場合あり

主催:奈良地方法務局/奈良県/市町村/奈良県人権擁護委員連合会(奈良県人権啓発活動ネットワーク協議会)

問合せ:なら・ヒューマンフェスティバル実行委員会事務局(奈良県くらし創造部人権施策課内)

TEL0742-27-8719、FAX0742-27-8721

☆香豆舎 スペシャルティ珈琲教室

日時:10月9日(土)14:00-16:00

場所:和三カフェ ~WAMI CAFE

(奈良市西ノ京町408-3、近鉄西ノ京駅すぐ)

定員:10人(定員になり次第締切)

費用:2000円(スイーツ&お土産代込み)

内容:珈琲の基礎知識・今、入手できるトッピングオリティ珈琲とは?・お家で珈琲をおいしく入れるポイント (持参するもの:筆記用具)

申込・問合せ:和三カフェ(TEL0742-31-1787、

wami_gohan@yahoo.co.jp)